（別記）

**平成２８年度　串間市農業再生協議会水田フル活用ビジョン**

**１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題**

当該地域は、宮崎県の南部に位置し、水田は耕地面積の2,365haのうち1,224haと約５割を占める重要な生産基盤となっており、早期水稲を基幹に露地野菜、施設園芸、果樹、肉用牛等の複合経営が行われ、今日まで本市の米の生産数量目標の達成に貢献してきている。

近年の農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、本市の基幹産業である農業の維持及び発展のため、農業従事者の高齢化や担い手、農業後継者の減少、農地においては耕作放棄地や鳥獣害被害等における耕作不利地の遊休化、燃料・飼料高騰対策等が喫緊の課題となっている。

平成22年度の総農家数は1,499戸とされ、平成12年から10年間で423戸減少している。また、60歳以上の農業経営者が65％であり、担い手の減少及び高齢化が進展している。

**２　作物ごとの取組方針**

（１）主食用米

主食用米は、需要に応じた生産を基本としつつ、作付の推進を図るとともに、需要に即した商品価値の高い売れる米づくりを推進する必要があると考えており、消費者ニーズに合わせたうまい米づくりを推進するため、気象条件にあった品種の選定や、更なるコスト削減に向けた技術の普及を推進する。

（２）非主食用米

　　ア　飼料用米

　　主食用米の需要減が見込まれる中、転作作物の一つとして、飼料用米を位置づけ生産の拡大を図る。生産拡大については産地交付金を活用し、直播栽培や多収性専用品種導入の取組を支援しながら、現行の１haからH28には６haへ拡大を図る。

　　イ　WCS用稲

畜産農家を中心に自給粗飼料の確保の観点から、作付面積が年々増加傾向にある中で、今後も生産性の高い畜産経営を推進するため、現行（H25）の作付面積である239.6haから、H28には300haを目標にＷＣＳ用稲の生産拡大を図る。

ウ　加工用米

本市における水田の効率的活用と生産性の高い水田農業の確立に向けて、「需要のある米」と位置づけ、県内の実需者への出荷における生産段階の支援として、産地交付金における宮崎県設定の支援を活用し、地域段階においても産地交付金の活用による更なる生産性向上の取組の支援を図り、現行（H25）の作付面積である0haからH28には40haを目標に農業所得の増加及び加工用米生産の拡大を図る。

（３）飼料作物

飼料作物については、今後も当該地域における基幹作物として位置づけ、畜産農家を中心に土地の利用集積や基幹作業受託の推進を図るとともに、耕畜連携のもと飼料の生産供給だけではなく堆肥を利用した資源循環型農業の推進を図り、現状の作付面積である750ha程度を維持する。

（４）そば

水稲後の二毛作としての栽培が定着しており、水田の高度利用の観点から、産地交付金を活用しながら、排水対策に取り組むとともに今後も作付の推進を図り、現行どおり7.0haの作付面積を維持する。

（５）野菜

施設野菜については、本地域の冬期における温暖な気象条件を活用してピーマン・きゅうり・トマト等を栽培しているが、輸入野菜の増加や消費者志向の変化及び価格の低迷が続いている状況の中で「安全で高品質」な野菜生産を行うため、減農薬・減化学肥料栽培に取り組むとともに肥培管理の徹底を推進し、銘柄産地の育成を行う。

　　露地野菜については、水田を中心に多作物が栽培されており、主要な基幹作物として、食用かんしょ・オクラ・スイートコーン等がある。また水田高度利用作物としてゴボウ等についても作付けがされている。これらの品目については、産地としての維持を目標に推進を図る。また、食用かんしょについては産地交付金を活用し、トンネル栽培への転換及び面積の維持を図り、現行（H25）の作付面積である75haからH28には78haを目標に、農家所得の向上を図る。

　　その他、加工野菜等の新品目を検討し、水田を活用した新たな産地の形成に向けた取り組みについても推進する。

（６）果樹

水田における果樹の作付状況についてはマンゴー・金柑等が主体となっており、今後も気候及び地域特性を生かし、中晩柑類の有望品種の拡大と新たな振興品目の検討を行い、産地交付金を活用しながら、水田における高品質な果樹栽培の積極的な振興を図る。

（７）地力増進作物

　　地力増進作物については、水田の地力増進の観点から、同一圃場での取組を最長３年間とした上で産地交付金による支援を行い、その後の野菜等の転作作物の作付誘導に向けた取組を行う。

（８）不作付地の解消

現行（H25）の不作付地（約９２ｈａ）について、約２割を（１）～（７）の品目への転換を推進する。

**３　作物ごとの作付予定面積**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 作物 | 平成25年度の作付面積（ha） | 平成28年度の作付予定面積（ha） | 平成30年度の目標作付面積（ha） |
| 主食用米 | 840.5 | 700.0 | 700.0 |
| 飼料用米　基幹作　二毛作 | 1.01.00.0 | 12.012.00.0 | 15.015.00.0 |
| WCS用稲　基幹作　二毛作 | 239.6239.60.0 | 320.0320.00.0 | 300.0300.00.0 |
| 加工用米　基幹作　二毛作 | 0.00.00.0 | 26.04.022.0 | 30.05.025.0 |
| 飼料作物　基幹作　二毛作 | 778.4186.2592.2 | 795.0200.0600.0 | 750.0200.0550.0 |
| そば　基幹作　二毛作 | 7.00.46.6 | 5.40.64.8 | 5.50.55.0 |
| その他地域振興作物 | 349.8 | 311.0 | 311.0 |
|  | 野菜　基幹作　二毛作うち（食甘トンネル）花き・花木果樹地力増進　基幹作　二毛作その他 | 279.0238.540.5(75.0)3.726.340.20.040.20.6 | 250.0210.040.0(70.0)3.726.330.00.030.01.0 | 250.0210.040.0(70.0)3.727.030.00.030.00.6 |

**４　平成28年度に向けた取組及び目標**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組番号 | 対象作物 | 取組 | 分類※ | 指標 | 平成25年度（現状値） | 平成28年度（目標値） | 平成28年度の支援の有無 |
| １ | 飼料用米 | 生産性向上への取組 | ア | 実施面積 | １．０ | ６．０ | 有 |
| ２ | 食用甘藷(ﾄﾝﾈﾙ) | トンネル栽培等での作付け | ア | 実施面積 | ７５．０ | ７８．０ | 有 |

※「分類」欄については、実施要綱別紙16の２（５）のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか1つ記入してください。）

ア　農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

　　イ　生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

　　ウ　地域特産品など、ニーズの高い産品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、（　　）内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

※畑地の面積は含めないこと。

※「平成28年度の支援の有無」欄については、産地交付金による助成を行う取組は「有」を、助成を行わない取組は「無」を記載してください。

※　次項は、地域協議会において平成28年度特別交付金による助成内容を設定する場合のみ作成してください。

**５　平成28年度特別交付金**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 作物区分 | 野菜 | 花き・花木 | 果樹 | 雑穀 | その他 | 合計 |
| 平成28年度作付計画面積（うち特別交付金）(ha) | 148.2（ 30.6 ） | 3.0（　0.0　） | 0.8（ 0.0　） | 0.0（　0.0　） | 0.0（　0.0　） | 152.0（ 30.6 ） |
| 平成29年度作付目標面積（うち特別交付金）(ha) | 149.6（ 32.0 ） | 3.0（　0.0　） | 0.8（ 0.0　） | 0.0（　0.0　） | 0.0（　0.0　） | 153.4（ 32.0 ） |
| 拡大割合（うち特別交付金） (％) | 100.9（104.6） | 100.0（　0.0　） | 100.0（　0.0　） | 0.0（　0.0　） | 0.0（　0.0　） | 100.9（104.6） |

※「平成28年度作付計画面積」欄については、平成28年度産地交付金(平成28年度特別交付金を含む。以下同じ。)で支援する高収益作物の面積を記入して下さい。（　　）内には、そのうち、平成28年度特別交付金による支援面積を記入して下さい（いずれも実面積）。

※「平成29年度作付目標面積」欄については、平成28年度産地交付金で支援する高収益作物の平成29年度予定面積を記入して下さい。（　　）内には、そのうち、平成28年度特別交付金により支援する取組の平成29年度予定面積を記入して下さい（いずれも実面積）。

平成28年度特別交付金により支援する取組の作付目標面積設定の考え方

（拡大の根拠となる情報や地域ごとの内訳等を記載）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １　野菜（１）ゴボウ　主として、主食用米の二毛作として作付されているゴボウについて、水田農業における高収益作物として推進を図り、二毛作のゴボウについても水田の高度利用の観点から、更なる推進を図る。本市における内訳は以下のとおり。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 28年度作付計画面積（ha） | 29年度作付目標面積（ha） | 拡大面積（ha） |
| 串間市 | 30.6 | 32.0 | 1.4 |
| 計 |  |  |  |

 |

**６　産地交付金の活用方法の明細**

　　別紙のとおり